

四旬節(レント)第1週 聖餐礼拝

2020年3月1日 第一礼拝(午前8:00~) 聖餐礼拝(午前10:30~) 夕拝(午後7:30~)

| | | | |
|--------|----------------------------|-------|---|
| 前奏 | (新聖歌41) | | |
| 聖餐の招詞 | | 司会者 | |
| ※賛美 | 新聖歌46「わが主よ今ここに」 | — | 同 |
| 聖書交読 | 交読文53「ルカの福音書第22章」(新聖歌921頁) | — | 同 |
| 祈禱 | | 司会者 | |
| 分餐 | (新聖歌53) | — | 同 |
| 感謝の賛美 | 新聖歌101「イエスよ十字架に」 | — | 同 |
| 聖書朗読 | 『ヨハネの福音書』12章27-36節(新約205頁) | 司会者 | |
| 黙想 | | — | 同 |
| 説教 | 「光とともに歩もう」 | 近伸之牧師 | |
| ※応答の賛美 | 新聖歌299「山辺に向かいてわれ」 | — | 同 |
| 感謝の献金 | (新聖歌58) | — | 同 |
| 感謝祈禱 | | 片山初子姉 | |
| 諸報告 | | 司会者 | |
| ※頌栄の賛美 | 新聖歌61「御恵みあふるる」 | — | 同 |
| ※派遣の賛美 | 新聖歌54「主の祈り」 | — | 同 |
| ※祝福の祈り | | 近伸之牧師 | |
| ※後奏 | (新聖歌59-7) | | |

(※印は、からだの不自由な方以外はご起立ください)
(機械演奏の場合、楽譜にない表現をする事もあります)

| | | | |
|------|-------------------------------|---|--------------------------|
| 第一礼拝 | 司会者：近伸之牧師 説教 | 音響：片山勝三兄 献金：沼田佐代子姉 | 聖餐準備：牧師家 配餐：片山健司兄 |
| 司会集 | 会：近伸之牧師 会：小山千春姉 (笹川清子姉) | 映像・音響：山崎敬典兄 聖餐時配餐：片山健司兄 説教の録画：近伸之牧師 | CS担当：近伸之牧師 ※掃除当番は右表参照 |

メッセージガイド

1. イエス様も、十字架の前に一度は恐れた(参照:マタ26:38、マコ14:34)。しかし神の働きのための恐れはすぐに希望の確信に変わる。神のみこころのために一歩踏み出す者は、天から力強い声を聞く(28)。
2. 天からの声は、ある者は雷にしか聞こえず、ある者は自分のために語られているとは思わなかった。しかし神のこぼれが自分のために語られていると信じる者はいのちを得、その歩みそのものが神の栄光となる。
3. 元々私たちの内に光はなかった。しかし今は、光であるイエス様が内に住んでくださる。光とともに歩もう。

今週の暗唱聖句

あなたがたに光がある間に、光の子どもとなるために、光を信じなさい。

(『ヨハネの福音書』12章36節a)

個人、団体からの来信

2020年3月1日

教団より「世の光」第834号および『教会の自立のためのヒント』/
2020年 教師家族送別のご案内[3月23日(月)12時半より新潟福音教会にて]/
新潟聖書学園バザー案内およびフリーマーケット参加検討中の教会様へ[4月29日(水・祝)]

先週の集会出席者数

| | | | | |
|---------|-----------|--|--|-------|
| 2/23(日) | 教会学校 | 幼児男子2 小学男子— 中学男子— 高校男子— 男児計2 成人男性1 幼児女子1 小学女子4 中学女子— 高校女子— 女児計5 成人女性1 | | |
| | 第一礼拝 | 男2 女2 | ※月に一回、書道教室を開催。 | |
| | 歓迎礼拝(子ども) | 男12 女15 男児2 女児5 | 2/24(月・振) 月曜家庭集会 (休会) 2/26(水) バルナバ祈禱会 | 男4 女5 |
| | 夕拝 | 男2 女2(求1) | 2/28(金) シャベリ場夕ビタ | 男— 女3 |
| | | | 2/28(金) 金曜祈禱会 | 男1 女2 |

諸集会のご案内

| | | | |
|----------|--------------|-------------|------------|
| 書道教室 | 3/2(月) 9:30 | 『ヨシュア記』1章9節 | |
| 月曜家庭集会 | 3/2(月) 20:00 | 山崎岩雄兄宅 | |
| ネヘミヤ祈禱会 | 3/4(水) 19:30 | 聖書：『詩篇』31篇 | 司会：小山千春姉 |
| シャベリ場夕ビタ | 3/6(金) 13:30 | 渡邊智子姉宅 | 問合せ先：小山千春姉 |
| 金曜祈禱会 | 3/6(金)夜 | 教会堂 | |

3/8(日) 四旬節(レント)第2週

| | | | |
|-----------------|---|----------------------------|--------------------------|
| 第一礼拝 午前8:00 | 司会：近伸之牧師 説教 | 音響：片山勝三兄 献金：沼田佐代子姉 | |
| 教会学校 午前9:00 | 担当：佐藤繁実兄 | 聖書箇所 マルコ11:1~11 | 暗唱聖句 マルコ11:9 |
| 第二礼拝 午前10:30 | 司会：片山勝三兄 集会：長谷川睦子姉 (山岸あけみ姉) | 映像・音響：片山浩司兄 説教の録画：近伸之牧師 | 感謝祈禱：片山麻美姉 ※掃除当番は下表参照 |
| 教会学校奉仕 | 3/1[近牧師] 3/8[佐藤兄] 3/15[片山姉] 3/22[近牧師] 3/29[片山姉] | | |
| 掃除当番順 | 3/1[佐藤姉] 3/8[長谷川姉] 3/15[山岸姉] 3/22[横堀姉] 3/29[渡邊姉] | | |
| 主日の予定 | グループ別分かち合い 会堂建築学び会 | 礼拝後 午後1:30~2:30 | |
| 夕拝 午後7:30 | 3/1 [次回夕拝] 『コリント人への手紙 第一』 7:25-40 3/8 [第一・第二] 『ヨハネの福音書』 12:37-43 | | |

報告

1. 礼拝の感謝
聖餐礼拝の恵みを感謝します。主の食卓の恵み、みことばの恵みを分かち合しましょう。この後は愛餐(昼食)の時を持ち、引き続きCS教師会及び定例役員会を行います。ひとり一人の活動が守られますように。
2. 同盟教団からの連絡
教団社会局長より「新型コロナウイルス感染症に対する教会の冷静な対応について」また、理事長より「第71回教団総会開催期間短縮のお知らせ」が配信されました。教会として冷静な対応をしてゆけますように。
3. 先週の来会者
2月23日(主) 歓迎礼拝に原由佳さん(敬和高1年)が導かれ、同日の夕拝には遠藤直美さんが導かれました。感謝します。
- 4.

スポーツの中でも、テニスの得点の呼び方は他と違って、初めは慣れないとわかりにくいような気がします。得点1は15(フィフティーン)、得点2は30(サーティ)、得点3は40(フォーティ)。どうして3が45でなくて40なのかというのがありますが、一番おもしろいのは、得点0をラブ(Love)と呼ぶことです。そして片方が一点もとれないゲームをラブゲームと言っています。これがある人は次のように説明しているそうです。

「愛にはいろいろあるが、相手に代償を求めない愛、ただ愛することだけに喜びを感じる。そんな愛こそ真実の愛である。それは無の心にも通じる。無はゼロに通じる。だからゼロを表すために『愛』という意味のラブを用いたのである。」

テニスの得点ゼロがこういう意味でラブと呼ばれているのかどうかは定かでないとしても(語源としては卵を表すフランス語からとも)、これは神の愛、アガペーを暗示する説明とは言えそうです。

この説明にぴったりの河野進さんの詩を紹介しましょう。これは何年前の『よろこびの泉』誌に掲載されていたものです。

愛はもうこれ以上、
進めないところから出発する
愛はもうこれ以上、
施せないところから出発する

愛はもうこれ以上、
手の打ちようがないところから出発する
愛はもうこれ以上、
命がないところから出発する

いかがでしょう。愛はすべて「ないところから出発する」というのです。まさに愛、ラブはゼロから出発するということなのでしょう。神が私たちに示してくださった愛こそは、まさにそのような愛にほかなりません。聖書にはこうあります。

正しい人のためにでも死ぬ人はほとんどありません。情け深い人のためには、進んで死ぬ人があるいはいるでしょう。しかし私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことにより、神は私たちに対するご自身の愛を明らかにしておられます。

(『ローマ人への手紙』5章7、8節)

神の愛は「正しい人」や「情け深い人」に対して注がれたものではありません。この聖句の前後を見ますと、私たちが弱くて、不敬虔で、罪人であったとき、いや敵でさえあったときに、キリストは私たちのためにご自身の命を投げ出してくださいました。

「もうこれ以上」どうにもならない、ゼロ以下の私たちのためにです。これをラブ、愛と呼ばずに、何と呼んだらよいのでしょうか。



ライフライン

毎週土曜日 朝5:15~5:45 BSNテレビにて放送中
☆24時間テレホン『でんわ世の光』025(272)3592



3/7(土) ライフ・ラインのつどい in 滋賀 「主のまなざし」 関根弘興牧師

昨年秋に滋賀県彦根市のキリスト教会で「ライフ・ラインのつどい」を行いました。つどいでは、サクソ奏者の安武玄晃さんが演奏をし、関根弘興牧師が「主のまなざし」というタイトルで聖書のメッセージを語りました。そんな「つどい」の様子を紹介します。

Broadcast for Expanding Gospel into Niigata
BEGiN。ここから始まるあなたの伝道。

豊栄キリスト教会は、ライフラインを祈りと献金で支援しています。



今年が「うるう年」(一年が366日ある年)である。うるう年は4年に一回、すなわち4の倍数の年(オリンピックが開催される年)と覚えている人は多いだろう。しかし4の倍数であると同時に100の倍数でもある年の場合に限り、400の倍数にあたる年だけが、うるう年になる。つまり、2000年はうるう年だったが、1900年と2100年はうるう年ではない。2100年まで生きようと思っている人は、覚えておいて損はない・・・かもしれない。

2020年度教会目標 「主にとどまり、みことばがとどまる群」

「あなたがたがわたしにとどまり、わたしのことばがあなたがたにとどまるなら、何でもあなたがたのほしいものを求めなさい。そうすれば、あなたがたのためにそれがかなえられます」(ヨハネ15:7)

日本同盟基督教団 新潟山形宣教区
豊栄キリスト教会 (牧師 近 伸之)

〒950-3322 新潟県新潟市北区嘉山3-11-15
TEL: 025-387-4934 FAX: 025-250-0155
ホームページ: <http://toyosakakyokai.net>
電子メール: toyosaka@yellow.plala.or.jp
ブログ: <http://toyosakakyokai.sblo.jp>

